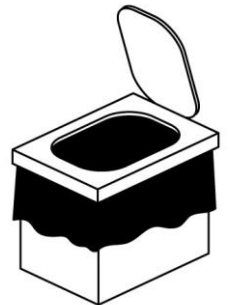


かつての災害時、問題となったことの一つにトイレの問題があります。

食べることと同じくらい、いやそれ以上に人間が生きていくにあたって、トイレの問題は避けてとおれません。トイレがいつも通り使えないことによって、精神的にも、身体的にも、様々な問題が起こってきます。今月は、トイレについてのチェックをしましょう。



今月のチェック 「非常用トイレ」



今すぐチェック

- 災害発生時、トイレを使う前に先ず配水管をチェック。

排水管が破損していないか？ 便器の下部や配管部を確認しましょう。

破損している時は、水を流してはいけません。いつものようにトイレを使うことはNG。

- 簡易トイレの備蓄をしてありますか？

1日5回×1週間×家族の人数の備蓄を！！

配水管が壊れているときは、備蓄してある「簡易トイレ」を使ってください。

- 水を運ぶバケツの準備はしてありますか？

配管の破損がなく、停電や断水が発生した場合は、バケツ1杯の水を流すことで、トイレを使うことができます。

- トイレ用の水の備蓄はしていますか

普段から、お風呂の残り湯をためておく習慣をつけましょう。

また、飲料水とは別に水道水をペットボトルに詰めるなどの水の備蓄をしましょう。

- トイレトペーパーの備蓄は十分ですか？

- おむつの備蓄、生理用品の備蓄は大丈夫ですか？

- 蓋つきのゴミ箱、中身の見えないゴミ袋は準備していますか？

災害時には、ごみ収集もいつも通りに来てくれるとは限りません。使用済み便袋や、汚物などの臭いが出るごみ用に蓋つきのゴミ箱や、中身の見えないゴミ袋は準備しておきましょう。